

# 平成25年12月町議会定例会一般質問通告概要

## ※ 質問順番

(H25. 12. 10)

1番	窪田一誠	議員	5番	伊東幸一	議員
2番	高嶋清光	議員	6番	米田俊信	議員
3番	岡田健治	議員	7番	町田信子	議員
4番	広島秀一	議員	8番	後藤智文	議員

## 1番 窪田一誠 議員

### 1 財政運営について

国の平成24年度補正予算にかかる「地域の元気臨時交付金」の市町村ごとの金額が決まったと聞いている。

今回は富山県全体の交付額が290億円で、そのうち県分が約156億円、市町村が134億円であり、市町村別には立山町が約9億1千9百万円になると聞いている。

立山町の実質公債比率、すなわち収入に占める借金の返済額を示す比率は12.6%と、5年前の平成20年度の17.7%に比べ、大きく改善されてきており、各種財政指標も概ね適正に推移していると思う。

今後、一時的には小学校改築事業により町債残高が増える事になると思われる。

こうした財政状況を踏まえて、新たな各事業・町民要望に応じて行ける環境が整ったと思うが以下について問う。

- (1) この有利な交付金を有効に活用し、これからの財政運営や事業推進を図るべきであると考えているが、どのような対応を考えているのか。
- (2) 立山町第9次総合計画の前期3年を終えて、中期3年間の実施計画策定が目前にきているが、主な事業はどのようなものがあるのか。
- (3) 3期目を目指す、舟橋町長の選挙公約マニフェストは、ハード・ソフト両面があると思うがどのようなものか。

### 2 児童・生徒の生活指導について

最近の児童・生徒の生活は外で遊ぶ事が少なくなり、家の中などでゲームやインターネットを使用し、深夜まで過ごす事が多くなっていると聞いている。

中学生や高校生になると、友達とチャットやラインのオンライン上でのやり取りで、睡眠不足になる等「ネット依存症」や事件に巻き込まれ、加害者・被害者になる社会問題も生じている。

町教育委員会として、このような事態に対し、どのような対策を講じるのか。

### 3 減反対策について

農林水産省は、11月28日米価を維持する生産調整として、平成26年産米生産調整目標を、富山県へ25年産より減反数量・面積が3,290トン、面積にして730ha多く発表され、過去最大の減反率となった。それを受けて町の対応を問う。

- (1) 飼料米の増産を図ることで、その作付面積は減反対応されるが、その条件は町畜産農家との契約が前提であるが、町全体の畜産農家絶対数は少ないがどうなるのか。
- (2) 飼料米作付けに対して、町全体の減反面積や数量等がオーバーした場合、どのように町として対応するのか。

(3) 立山町では、各地区で水稻の反収が違っており、反収の高いところと低いところとでは、標準 10a 当たり反収が約 40kg の差が生じている。

飼料用米ばかりでなく、加工用米・政府備蓄米も合わせて、生産調整を実施した場合に、耕作者居住地の 10a 当たり反収で計算するのではなく、実際の作物の作付け地、各地区それぞれの 10a 当たり反収を用いて、面積や収穫数量でカウントをするのが正当と思うがどうか。

## 4 立山上市横断道路について

平成 25 年度立山上市横断道路期成同盟会の総会の折に、当局から平成 26 年 6 月立山・上市横断道路整備促進協議会の発展的解消予定同盟会を、富山立山線建設促進期成同盟会に編入し発展的解消となったが、合わせて町道二ツ塚・辻線の県道昇格要望区間など今後の取り組みを問う。

(1) 立山上市横断道路の供用開始の時期と全線完成の時期は。

(2) 町道二ツ塚・辻線の県道昇格要望区間など 4 車線化や課題も多いが、今後どのように取り組むのか。

## 2番 高嶋清光 議員

### 1 町所有地にある、町所有土砂について

吉峰の町所有地にある町所有の土砂を、特定不動産業者に 3, 000 m<sup>3</sup>分を提供した問題で、町の説明では、水路の改修も兼ねさせて施工したため、土砂を提供したと言っているが、今まで立山町に多くの宅地開発があったが、このような事例があったのか。

立山町開発指導要綱に基づいて行われているが、町長と不動産業者のとの関係は、町民の多くが知っている。

要綱の第 6 条によって、宅地開発業者が水路の経費を負担することになっているが、その要綱違反をしてまでも、町から土砂を提供した理由はなにか。

立山町開発指導要綱第 6 条を、どのように理解しているのか。

### 2 指定管理者を第三者評価制度にしては

県施設において、来年度から業者・民間に委託する指定管理に対して、第三者評価を試行すると報道があった。

立山町も保育所や町民会館ほか多くの委託をしている。

あくまでも業者・団体であり、委託費が政治的や個人的に使用されることが予想される。

また、委託先の運営に町が入り込むことも予想されることから、第三者評価制度を取り入れるべきだと思うがどうか。

### 3 町職員駐車場について

9 月議会補正予算で、前沢地内に業者の不要残地を職員駐車場として、3, 400 万円の補正をしたが、町民からは「必要ではない」と議会に反対の意見が多くでた。

議会から、ほかに空いている駐車場があるのでは。また、「残地のため、形が悪いのでは」といろいろと質問がでた。

町から、25 年度職員給与の一時減額分とか防災面とかの説明があり、有効に利用するものと思い賛同したが、あれから 2 ヶ月半過ぎたが取得面積の 3 分の 1 しか利用していない。

町民からは、形が悪い・残地は初めからわかっていたことと言っているが、どのように説明するのか。

## 3番 岡田健治 議員

### 1 安心・安全の町づくりに、防犯協会等の活発化を

年末に入って、歳末警戒も始まるところであるが、利田地区では窃盗・空き巣が多発している。

お寺のお布施がごっそりとか、昼間無人で施錠してある住宅でも、窓ガラスを割られて侵入されている。

やはり、駐在所は必須だと思う。また、防犯協会等の活動に、もっと支援をすべきでないか。

### 2 歩道工事の安全対策について

現在、通学路として使用している町道の歩道工事で、安全対策もせず、朝夕、児童が通学している。

朝の通学時間帯は、工事をしていないとはいえ、夕方の帰宅時間帯は非常に危ない。なにか安全対策を講じるべきでないか

### 3 県道富山立山線の4車線化と橋梁工事について

シマヤ・ジョーシンのオープンに伴って、販売・購買時間帯に拠っては、大変混雑になっている。

駐車場が少ないこともあってか、初日からパトカーが出動、事故処理にあたっていた。

付近の混雑の緩和のため、富立大橋の北側橋梁の早期工事や4車線化を急ぐべきでないか。県への働きかけはどうしているのか。

### 4 子育て支援策の拡充について

少子超高齢化社会になっていくが、児童福祉・子育て支援をもっと拡充することが、立山町の道・方向性でないか。

子供を産みやすい立山町とか、子育てしやすい立山町とか、産んだあとの社会復帰の道も、会社に働き掛けるとか支援策を、もっともっと、拡充すべきと思うが、町の考えはどうか。

### 5 地産地消のために、小規模作物でも転作作物と認めるべき

(国は、減反政策5年後廃止としているが)先の議会では、農産加工品の生産量は、少ないものの、やる気のある農業者には、アドバイザー事業等を活用して、支援を行っていくとしていたが、小規模作物等はどうのような面積・条件でなければ「転作奨励金」の交付対象としないのか。

また、国は転作政策の転換を図るとしているが、離農者がますます増えるのでないか。その影響はどうかと予想しているか。

## 4番 広島秀一 議員

### 1 町税等のコンビニ納付について

住民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税や水道料等を、コンビニで納付できれば役場や金融機関の窓口に行かずに納めることができる。

また、休日や夜間にも納付できるメリットがある。

導入するためには、経費も増えると思うが、町民の利便性向上のため、口座振替の推進とともに、コンビニ納付を導入する考えはないか。

## 2 なりすまし詐欺の対策について

全国的に「なりすまし詐欺」による高齢者の被害報道が新聞やテレビでされている。9月にも、上市警察署管内で現金約4,500万円をゆうパックで送金した被害が発生している。

- (1) 町における、年間の相談件数や被害の状況はどうか。
- (2) 被害防止の啓蒙活動はどのようにしているのか。
- (3) 自宅の電話機の前に予防チラシ等を張って注意を促す対応も大事だと思うが考えを聞きたい。

## 3 町道大清水・榎線の拡幅と歩道の新設について

下段駅から給食センター付近の団地までの区間約200mは、道幅がせまく、歩道もないため、歩行者は危険である。

武道センターの完成後、児童生徒の利用も増加すると思うので、安全対策として道路の拡幅と歩道を新設する考えはないか。

# 5番 伊東幸一 議員

## 1 交通安全対策について

- (1) 多発する交通事故に対する交通安全運動の強化について  
上市署の多発警報発令後も事故が続いている。警察等関係機関との連携のもと、的確な対応を図るべきである。
- (2) 役場職員の交通事故の状況と対応について  
職員の年間事故発生の状況と相手方や職員への対応はどうか。  
再発防止に向けての対策はどうか。

## 2 農業問題について

- (1) 減反制度廃止方針について  
急速な制度改変による、農家の不安を取り除く手立てを講じるよう、農業団体と一体となって、国等に働きかけるべきではないか。
- (2) これからの農業振興について  
来年は、国際農家年。ここ十数年来の立山町農業の状況をふまえ、今後どのような農業振興を図るのか、基本的な考えを問う。農業者は、町長に期待している。
- (3) 農家民泊について  
町としても、積極的に支援すべきでないか。

## 3 定住対策について

- (1) 町営住宅短期貸出しや町有地の販売に取り組み期待しているが、現在までどのような成果が出ているのか。
- (2) 役場組織あげての取り組みが重要。里山対策検討委員会の活動状況はどうか。

## 4 地域振興について

芦峠寺スキー場のエアジャンプ場など、民間主導の働きが活発である。  
町として、国等の補助制度、金融制度の紹介、情報提供や広報等の支援ができないか。

## 5 再生可能エネルギー対策について

環境省では、新年度に地熱・地中熱、空調廃熱等の未利用地域資源を活用する事業を行う市町村を、積極的に支援するとのことである。

再生エネルギー協議会を設置する、環境に優しい立山町として、前向きに取り組むべきでないか。

## 6番 米田俊信 議員

### 1 政治家 舟橋貴之の政治理念、政治哲学について

代議士秘書時代から、町議、町長に至る今日までを通じての、町長の政治理念、ポリシーを問う。

### 2 教育関係について

- (1) 全国学力テスト結果を踏まえて、県の学力向上対策をどのように見ているのか。また、立山町教育委員会の対応はどうか。
- (2) 学校給食の役割をどのようにとらえ、町の特徴を出すための工夫はどうか。また、安全管理の確保にどう対応しているのか。

### 3 利田地区の振興について

- (1) 道路網の整備により、大きく変貌する利田地区の地域開発が、秩序あるものとなるように、対応を考えているのか。
- (2) 利田地区は用排水路系統が弱い。計画的な道路網整備、用排水路の改修整備が進展するよう、最重要課題として取り組んでいるのか。

## 7番 町田信子 議員

### 1 立山町制60周年、町の今後の展望について

町長は(1) 健やかなまち「健康・快適」たてやま(2) 活力のまち「田園・交流」たてやま(3) 学びのまち「教育・文化」たてやまの3項目を掲げているが、それぞれの具体的な将来像を聞きたい。

### 2 北陸新幹線と観光対策について

北陸新幹線の開通を絶好の機会ととらえ、観光客の誘致を図るべきである。観光客の増加を一時的ブームに終わらせないためにも、長期的な対策を示されたい。

### 3 子ども医療費助成制度の拡充を

- (1) 通院費の助成を、中学校3年まで拡充してはどうか。
- (2) 自己負担を現行の1,000円から1割としてはどうか。

## 8番 後藤智文 議員

### 1 国政が町民に与える影響の多い政策について、考えを問う

- (1) 秘密保護法案は、町民の目、口、耳をふさぎ、知る権利や知らされる権利を奪われ、自由にもものが言えない時代になると思うがどうか。
- (2) 消費税の増税は、町民の生活苦を一層増すことになると思われ、増税しないことが求められるがどうか。
- (3) TPPとの関連で、農政の大転換(減反廃止)は農業者を混乱に陥れ、日本・町を崩壊させる。農業は地域社会を守るという認識に立ち、反TPPの声を挙げることは、ふるさとを守ることになると思うがどうか。
- (4) 介護保険の見直しが本格化され、要支援の援助の中で訪問介護と通所介護を保険給付から外し、市町村に任せることに対して断固反対すべきではないか。

- (5) 就学援助対象者の見直しは、該当者の生活を苦しめ、ひいては子どもの学ぶ権利も奪われると思うがどうか。
- (6) 文科省は全国学力テストにおける学校別の結果公表を、市町村の教育委員会にゆだねようとしているが、公表は教育をゆがめることになると思うがどうか。

## 2 「町民が主人公」の町政を

- (1) 来年度予算に対して、各地区要望が出されているが、どんな内容・種類の要望が多いか。
- (2) 身近な道路を直してほしいとか、カーブミラーをつけてほしいなど、毎日の生活に直接関係する要望に基づくまちづくりを基本とすることが、求められているのではないか。
- (3) 中山間地の過疎化が一層進んでいるが、各地区において「協議会」なるものを立ち上げ、住民の力で過疎化を遅らせるなどの対策を立てるべきではないか。
- (4) 町長の姿勢として、国の政策ありきではなく、住民要望ありきで町政を組み立てるべきではないか。

## 3 子ども医療費について

- (1) 中学3年生までの医療費無料化を通院費まで拡充すべきではないか。
- (2) 個人負担一月千円は撤廃すべきではないか。

## 4 学校給食の統一化について

- (1) 雄山中学校の給食調理場は、町学校給食センターができて10年間は使うと言われていたが、なぜ今なのか。
- (2) 子どもたちのことを考えれば、効率よりも安全や情操教育を重視すべきではないか。

## 5 冬対策の充実を

- (1) 今冬は大雪が予想されているが、立山地区をはじめ中山間地域への除雪体制は万全か。
- (2) 灯油の値上がりは生活を苦しめている。低所得者や高齢者の独り暮らしなどに福祉灯油の支給をすべきではないか。

## 6 観光について

- (1) 尖山登山道入り口に、トイレの設置をすべきではないか。
- (2) 称名滝へ向かう道路の途中にある「悪城の壁」を、もっともっと観光スポットとして宣伝してはどうか。